

22年度 環境整備事業

■宇津ノ谷峠のプチメンテナンス

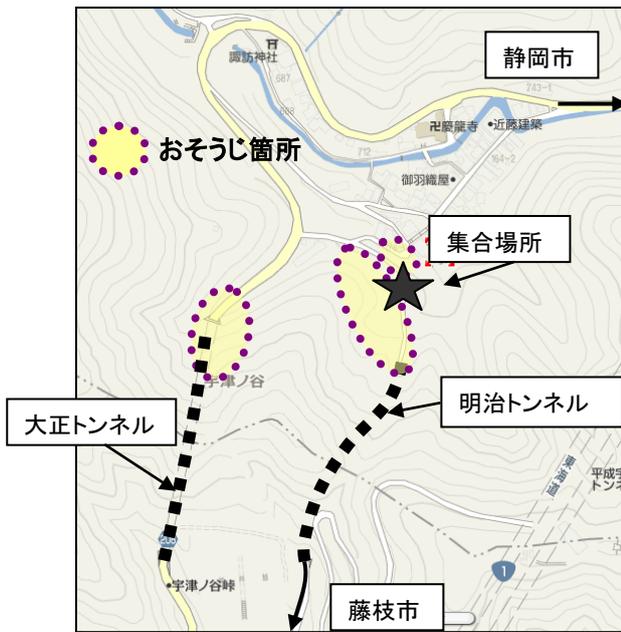
みんなで道をきれいに！

東海道2峠6宿 草刈・ゴミ拾いin宇津ノ谷峠

東海道駿河2峠6宿では環境美化活動を推進しています。今年は「きれいな街は、人の心もきれいにする」「おしゃれにかっこよくゴミ拾いをする」をコンセプトに中心商店街で活動している若者グループ「green bird」さんの参画を得て、宇津ノ谷集落有志の方々と明治トンネル道沿いの斜面の草刈や、大正トンネル周辺のゴミ拾いなどのプチメンテナンスを実施します。

「ゴミを拾って、草を刈れば・・・心が晴れる！」

<実施場所>



●実施日：平成22年8月14日(土)

●集合時間：午前8時

●集合場所：明治のトンネル前広場

●服装：長袖・長ズボン・軍手・帽子着用・スポーツタオル

※注意事項：各自飲物持参してください。またゴミ拾いグループ蚊取り線香など虫除けをご持参ください。鎌などは用意します。

<スケジュール>

時間	内容	備考
～8:00	■集合(明治のトンネル前広場)	
8:00～	●あいさつ・注意事項 ●ミニレクチャー 宇津ノ谷峠の地域資源価値について ●鎌の使い方(グループ割り)	草刈グループとゴミ拾いグループに分かれます
8:20～	■作業開始	
10:00	■終了(予定)	





どんな所なのか知ると愛着がわきますよ！



東海道駿河2峠6宿in宇津ノ谷峠

宇津ノ谷峠周辺は日本武尊が通ったといわれている日本坂峠(やきつべの小径)、在原業平の伊勢物語にでてくる蔦の細道、豊臣秀吉公、家康公との縁が深い東海道、日本発の有料トンネルであった明治の道、大正の道、昭和の道、平成の道と古代から現代までのすべての道がルートともに残っている日本でも大変珍しい場所です。

宇津ノ谷峠の魅力を知りつつ、本日の草刈&ゴミ拾いをがんばりましょう！

●明治トンネル 203m、幅 4.0m、高さ 3.9m

—明治 7 年安倍川に橋が架かると丸子～静岡間の輸送経路が完成し、物流が盛んとなり、厳しい峠越よりもトンネルへのニーズが高まってきました。

—そこで、安倍川の有料木橋を完成させた静岡市弥勒町の宮崎総吾は岡部町の杉山喜平治らに働きかけ他 6 名と結社し、トンネルの整備に着手しました。トンネルには約 15 万人の労役人夫が藁で編んだ座布団の上に座って、手彫りで天井部から床部に向って掘りながら、2 年の歳月をかけたとい割れており、トンネルの完成とともに明治の道が整備されました。これが日本で初めての有料トンネルです。当時はお茶や竹を運ぶ馬車や人力車が多く通行していたようです。

—明治3年(1870年)に作られた大阪～神戸間の「石屋川隧道(長さ 61m)」は明治最古のトンネルですが、技術者はすべてイギリス人でした。宇津ノ谷のこのトンネルは2番目に完成したトンネルですが、技術者は全て日本人！しかも長さが 224m(当時)もあり、最先端の日本の技術が使われたのではないのでしょうか。コストを抑えるため当初は「く」の字に曲がっていたそうです。

●大正トンネル

—長さ 227m×幅 7.3m×高さ 4.3mのトンネルです。

—明治の終わりごろから登場した自動車は急激に増加し、政府は道路改良計画に着手しました。宇津ノ谷峠にも新しい道が必要とされ、大正 15 年(1926 年)にトンネル整備が始まり、昭和 5 年に完成しました。当時の国道は舗装がなく、車が通過するたびにほこりが立ち上がり、またこの坂を一気に登りきれない車も多かったようです。昭和トンネルができるまで、戦前戦後を通じ、当時の東西を結ぶ自動車交通の増大を支えてきました。

—昭和 29 年の台風による大災害による復興、延伸工事によりトンネルの銘板は岡部町側が昭和 5 年、静岡市側が昭和 30 年となっています。

■府中宿つつじ通りプチメンテナ ンス

○実施日

- 平成 22 年 11 月 21 日(日曜日)
- 午前 9:00~11:30

○参加者

- つつじ通り花いっぱい運動の会
(日吉町、相生町、日出町、伝馬町、横田町、栄町の有志)
- NPO法人 ふじのくにまちづくり支援隊
- NPO法人 地域づくりサポートネット

○内容

- 6 回目となるつつじ通りのプチメンテナンス作業である。
- 昨年度、焼付け塗装なので、おためしで行った足元灯については「やはり塗ったほうがきれい」という意見が多かった。そこで焼付け塗装の色が落ちている足元灯を中心に実施した。
- 昨年度使用した濃い緑色は「木々の色とあう」と好評だった。今年は分電盤等についても同色で行った。



<平成 22 年 11 月 22 日 日曜日 静岡新聞>

つつじ通りを美しく
環境団体が美化運動
静岡市内の環境保護グ
ループ3団体が21日、静
岡市葵区の県道静岡環状
線(通称つつじ通り)を
美化する「プチメンテナ
ンス」運動を展開した。
参加したのは、周辺の
住民でつくる「つつじ通
り花いっぱい運動の会」、
NPO法人ふじのくにま
ちづくり支援隊、NPO
法人地域づくりサポート
ネット。
参加者は遊歩道の街灯

と看板を塗り替え、ごみ
や落ち葉も拾い集めた。
花壇にはパンジーや葉ボ
タンを植え、道路に彩り

を添えた。
運動は今年で6年目。
道路の美化や緑化に取
り組む団体に市が資機
材の貸し出しや種苗の
支給を行う「道路サポ
ーター制度」を利用し
ている。



看板を塗り替える参加者 10.11.22(静)
—静岡市葵区の県道静岡環状線